

「スペシャルオリンピックス日本・山口」(SON・山口)ホームページより

スペシャルオリンピックス(SO)とは

1962年に故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を解放して開いたデイ・キャンプがスペシャルオリンピックス(SO)の始まりです。知的障害があるために、まだ一度もプールで泳いだり、トラックを走ったり、バスケットボールをしたことがない人たちにスポーツを提供する、それが彼女の願いでした。実は彼女の姉ローズマリーには、知的障害がありました。

1968年にジョセフ・P・ケネディJr・財団の支援により組織化され、「スペシャルオリンピックス」となり、全米から世界へと広がっています。また、1988年に、国際オリンピック委員会(IOC)と「オリンピック」の名称使用や相互の活動を認め合う議定書を交わしています。本部はアメリカ、ワシントンD. C. にあり、170カ国以上で約370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが活動に参加しています。現在、SO国際本部(SOI)の会長は、創設者ユニスの子息であるテイモシー・シュライバーが務めています。

スペシャルオリンピックス日本(SON)とは

日本では、1980年に活動が始まり、1993年熊本で活動が本格化され、1994年に国内の本部組織である「スペシャルオリンピックス日本(SON)」が設立されました。現在では、47道府県全てに活動が広がっています。

スペシャルオリンピックス日本・山口(SON・山口)とは

山口県では、1999年に全国で16番目の地区組織としてスペシャルオリンピックス日本・山口(SON・山口)として設立されました。17名のアスリートでスタートした水泳プログラムを皮切りに現在では、ボウリング、テニス、サッカー、バスケットボール、体操、フロッケー、スキー・スノーシューイング、陸上、卓球、ALPs。下関ノンスポーツと12のプログラムでアスリート・ボランティアが活動しています。

SOではオリンピックと同様に4年に一度世界大会が開催され、その前に国内大会が開催されます。夏季、冬季の2大会があり世界大会の開催は隔年となり、2005年にはアジアで初の世界大会が長野で開催されました。